

白河関まつり&しらかわ魂2015 COOL JAPAN♡
踊り流しに約1,200人が参加

8月2日、JR白河駅前周辺で「白河関まつり」が行われました。「白河関の踊り流し」には、19団体約1,200人が参加し、一般公開された小峰城を望む小峰通りで、息の合った踊りを披露しました。夜には「市民納涼花火大会」が行われ、城山公園から打ち上げられた約5,200発の花火が、夜空を彩りました。また、1日・2日の両日、JR白河駅前イベント広場では、「しらかわ魂2015 COOL JAPAN♡」も行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。



▲おそろいの法被で踊る参加者

大定信展オープニングセレモニー
合同特別企画展で定信の生涯をたどる

8月8日、集古苑（郭内）で、桑名市・白河市合同特別企画展「大定信展－松平定信の軌跡－」が開幕し、オープニングセレモニーが行われました。セレモニーでは、鈴木市長や伊藤徳宇桑名市長など関係者がテープカットを行い、開幕を祝いました。続いて、両市の学芸員による作品解説が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。なお、この企画展は9月23日(祝)まで本市で行われ、10月10日(土)からは桑名市で開催されます。



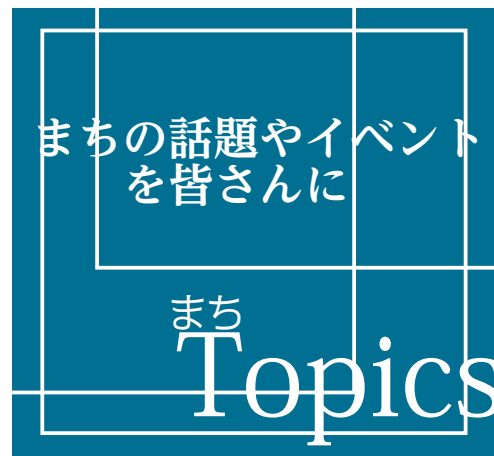
▲学芸員から作品の解説を聞く参加者

Shirakawa Week2015シンポジウム
それぞれの観点から意見を交わす

8月9日、白河信用金庫西支店新自信ビル（立石）で、「Shirakawa Week2015シンポジウム」が開催されました。「地方からの大学進学」をテーマに、国立大学文系廃止論などの課題を、白比嘉高氏（名古屋大学文学研究科教員）、開沼博氏（福島大学特任研究員）、鈴木市長、青砥和希氏（Shirakawa Week実行委員長）などが、それぞれの観点から意見を交わしました。大学進学をめぐる最新の話に、来場者は熱心に聞き入っていました。



▲意見を交わす登壇者



▲職員から花束を受け取る鈴木市長

3期目がスタート
温かい拍手に迎えられながら初登庁

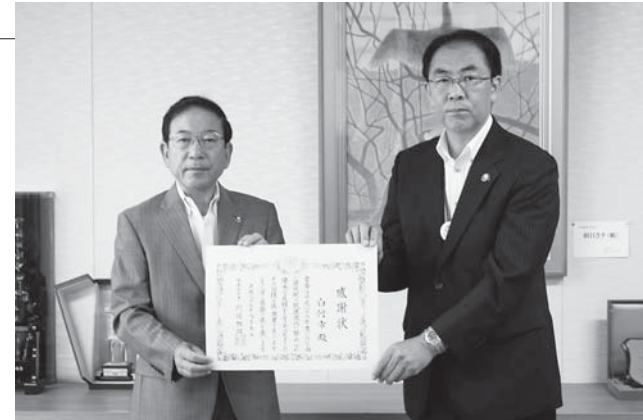
7月29日、市役所本庁舎正面玄関前で、多くの市民や職員の温かい拍手に迎えられながら、鈴木和夫市長が3期目の初登庁をしました。職員から花束を受け取り、「今日から再び全力で市政に取り組みたい」と抱負を述べました。引き続き行われた就任式では、「人口減少対策、産業振興、子育て支援など課題は山積しているが、現実を直視し、できることから積み重ねていこう。確かな手を打てば、道は開ける。考えを共有しながら、同じ方向性を持って市政をつくっていこう」と職員に訓示しました。代表して鈴木進一郎副市長が「鈴木市長のもと、心を新たに、市民福祉の向上のため、一生懸命職責を果たしていきます」と答辞を述べました。



▲就任式

個人県民税優良市感謝状を受賞
収納率向上が評価される

8月5日、市役所で「個人県民税優良市納税功労知事感謝状」の伝達式が行われました。式では、小檜山均県南地方振興局長から市に感謝状が贈呈され、鈴木市長は「市民との信頼関係を築きながら、今後も徴収率を向上させていきたい」と述べました。今回の受賞は、平成26年度個人県民税の賦課徴収で、特に収納率が著しく向上したことが評価されたものです。なお、本市は平成19年度にも受賞しています。



▲左から鈴木市長、小檜山県南地方振興局長